

令和3年11月12日

お知らせ11

校長 内山

1 合唱コンクール3年生の部を実施

11月10日に本校体育館を会場に「令和3年度 千葉市立加曽利中学校 合唱コンクール 3年生の部」を開催しました。

当初は10月14日に、青葉の森芸術文化ホールで開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、歌の練習ができない状態で実施に踏み切ることが、関係するみなさんにとってよろしくないと判断をし延期という決定をしました。

しかし、3年生は進路指導を開始する時期でもあり、1・2年生徒は別日程でコンクールを実施した次第です。

当日は、合唱を専門としてご指導されている千葉市立幕張西中学校の校長先生を講師としてお迎えしてご指導いただきました。講師の先生からの講評の概要を掲載しましたので是非目を通してほしいと思います。

曲目や結果は以下の通りです。

(1) クラス別発表曲 ※課題曲は校歌3番

順番	クラス	自由曲曲名
1	2	あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ
2	1	虹
3	3	友～旅立ちの時～
4	4	春に

(2) 成績

最優秀賞 4組

優秀賞 1組

※指揮者賞2名、伴奏者賞2名

(3) 講師の講評概要

本日は、素敵な時間をありがとうございました。皆さんの、これから頑張って歌うぞというやる気の姿勢が見て取れました。立場上、審査員として賞をつけなければならないのでその観点から話をさせていただきます。

私は皆さんの練習の様子等は見えていません。本日、この場で1回だけ聞いたものを

評価します。これもまた音楽の特性だと思います。練習量でなく、質を高める練習を結果に結びつけることができたかということが大切です。

音楽を表現するということは、相手に届く音となって出てこなくてはなりません。人の声をよい声でつないでほしいと思います。良い声とは、響きのある声であります。マスクをして歌うと歌いにくいと思います。マスクをしていても、口の奥を大きく開けて歌うだけでも音色は変わります。

歌詞はメッセージです。そのメッセージを聞いている人に伝えることができたかということも大切な要素です。明確に歌う際に「はひふへほ」や「さしすせそ」の発音は難しいです。

「はひふへほ」は不明確になりやすく、「さしすせそ」の音はとんがってしまう発音になりがちです。「がぎぐげご」の音は鼻濁音とそうでないものの使い分けが難しいです。WO (ワ) とO (オ) の使い分けも難しい技術です。その全部が合わさって、聞いている相手に対して詞として伝わったかということが歌い方として大切です。

声の出し方は、息をいっぱい吸って、音量の大小の差は息の出し方でコントロールします。また、体がこわばっていると声が響きません。余分な力を抜きましょう。歌っている中で、自然と体が揺れてくることは良いことです。

歌う際には発音に注意し、それを伝える表現を大事にしたいですね。



【密防止のためギャラリーも使用】



【歌う学級と客席の生徒の距離をとる】



【2組の合唱の様子】



【1組の合唱の様子】



【3組の合唱の様子】



【4組の合唱の様子】



【講師の幕張西中学校校長先生より講評】



【実行委員長の振り返っての話】

2 外回りの伐採作業

学校の正門側の道路沿いの樹木が大きく成長し、道路上の電線まで伸びてしまい、強風が吹いたときにご近所の皆様にご迷惑をおかけする可能性がありますので、千葉市教育委員会にお願いをして11月11日に伐採をしてもらいました。



【伐採前の張り出した枝】



【電線に接触する枝】



【伐採後、フェンスに沿って払われた枝】